

第 9 次 第 5 回 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 会議録

日 時 : 平成 25 年 3 月 26 日 (火) 13:00~13:30
会 場 : 市役所本庁舎 9 階 議会大会議室
出席委員 : 15 名
会 議 録 :

(西田室長)

本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。

司会を担当いたします環境衛生部ゼロごみ推進室、室長の西田でございます。

本日は、委員 20 名中 15 名が出席しており、「苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」及び「同施行規則」により、審議会成立の要件であります半数以上の出席を得ておりますので、ただ今から、第 9 次第 5 回苫小牧市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

それでは開会にあたり大水会長よりご挨拶をお願いいたします。

(大水会長)

本日は、大変お忙しい中、第 5 回審議会にご出席いただきましてありがとうございます。

本年 7 月から家庭ごみ有料化及び紙類の資源回収が実施されることとなりますが、それに向けて、市では昨年 4 月から「053 大作戦～ステージ 3～」におきまして、きめ細かな市民周知などの様々な事業を展開されております。特に市民周知につきましては、第 8 次の答申にもありましたが、『市民理解が得られるよう、十分に周知・啓発を行うこと』とされておりますので、どのような周知状況にあるのか、気になるところです。

本日は事務局から市民周知についての経過報告されることになっておりますので、しっかりお聞きしたいと思います。

(西田室長)

ありがとうございました。それでは会議規則に従いまして、会議の進行を大水会長にお願いすることといたします。

なお、ご発言なされる場合には、委員の皆さんの前にありますマイクの赤いランプが点灯していることを確認した上で、ご発言くださいますようお願いいたします。

また、本日は審議会終了後に視察予定がございますので、視察時間の関係上、審議会を 1 時 30 分頃まで終了したいと考えておりますので、ご協力の程よろしくをお願いいたします。

それでは、大水会長、よろしくをお願いいたします。

(大水会長)

それでは、会議次第に従いまして会議を進めさせていただきます。

西田室長からお話がありましたが、本日の審議会は、視察が控えていることから開催時間は 30 分とし、1 時 30 分までに閉会したいと考えておりますので、議事進行へのご協力の程、よろしくお願ひします。

本日は、報告 1 件となっております。

それでは、事務局より報告願います。

(事務局)

私から昨年 4 月から実施しております説明会等の状況につきまして、ご報告させていただきます。

それでは、資料2をご覧ください。

1 市民周知目標1万人、目標回数300回につきましては、町内会、老人クラブへの説明会や各種団体への出前講座、イベントや常設説明会を開催いたしまして、2月末現在で264回開催 11,541人への周知となっております。開催回数につきましては、目標数値に現時点では達していませんが、すでに申込されておりますものを含めると300回を超えるところであり、また周知人数につきましては、1万人を超えて目標を達成しておりますが、あくまで目標でございますので、さらなる周知に向けて引き続き努めてまいります。

2 常設市民説明会につきましては、昨年10月から今年3月までの6ヶ月間で、117回開催する予定となっております。各コミセンや市民活動センターにおいて、6パターンの開催時間を設け、少しでも参加しやすい環境を整えておこなっております。2月末現在で97回開催し、1,142人の方が参加されております。会場別で見ますとのぞみコミセン・豊川コミセンと西地域の方の参加が多い状況であり、また時間別に見ますとお昼前後の時間帯に参加者が多い状況となっております。

3 高齢者への周知につきましては、町内会、老人クラブまたは常設市民説明会などにおいて説明会を実施しております。特に説明会等へ参加できない高齢者の方もいらっしゃいますので、地域包括支援センター、介護事業所やケアマネージャー連絡会において、職員やケアマネージャー向けに出前講座を実施し、サービスを利用されている方や家族への分別などのアドバイスをしていただけるようお願いしております。

4 年少・若年層への周知につきましては、幼児には保育園や幼稚園を訪問し、紙芝居、分別ゲームや053ファイブショーなどによる出前講座を実施し、小中学生には環境教育副読本などを配布して授業での活用をお願いしております。親子や若年層にはプラザまつりなどのイベント開催やたるまえサンフェスなどのイベントに参加して周知に努めております。若年層へアプローチはなかなか難しいところがございますが、出前講座で学んだことをお子さんが家庭で実践することで親御さんに伝わることや、企業での出前講座を開催することで、若年層への周知に努めております。

5 説明会で出される質問事項につきましては、資料3をご覧ください。こちらには、説明会などでいただいた質問をピックアップして、Q&A集を作成し、説明会などで配布しております。また広報、ホームページにも掲載することで情報を発信・共有するよう心がけております。

資料4、5につきましては、説明会等の資料としてお配りしているリーフレットになります。

以上簡単ながらご報告を終わらせていただきます。

(大水会長)

ただ今の報告に対しまして、質問、ご意見等がございましたらお願いいたします。

(A委員)

あの、いろんな周知方法で努力されていると思うんですけども、前の審議会の時にもお話ししたんですけど、共同住宅への周知はどんな状況になっているんですか。

(山村課長)

清掃事業課の山村と申します、よろしく申し上げます。共同住宅への周知でございますが、現在のところはパンフレット等を配ったりとかは行っております。今回の053大作戦ステージ3の中で有料化に合わせまして、共同住宅の協議会設立に向けて今、取り組んでおります。協議会を設立しますことによって、各共同住宅のオーナーさんとか集まっていただきまして、各共同住宅の排出マナーを改善していただくために、どのようなことを行っていったらいいかというような、話し合い等を設けながら共同住宅の排出マナーについて向上に努めて参りたいと考えております。

(大水会長)

Aさん、よろしいでしょうか。

(A 委員)

はい。

(大水会長)

他にございませんか。よろしいでしょうか。

< ありません。 との声 >

(大水会長)

他にご意見はありませんので、本日の審議会の議事は終了いたします。

今回の審議会で任期満了となりますが、退任にあたり委員の皆さんから意見や今までの感想を伺いたいと思います。B 委員から順にお願いします。

(B 委員)

あの、長い間というか、私も随分お付き合い長くなりましたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。この委員会に出て随分勉強させていただいたというのが率直な私の気持ちです。なかなか家庭のごみのことについては、あんまり理解できないでいて、会社のごみのことばかり考えていてごっちゃにした部分もありましたが、大変勉強になりました。ただ、いよいよ有料化とやっそこまできたんだというような気持ちがあるんですが、これによってぜひ、苫小牧のごみの量が減ってくれば、一番良かったなと思います。そうなることを願っております。どうも長い間ありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございました。C 委員、お願いいたします。

(C 委員)

あの、この審議会に参加させていただきまして、本当に家庭ごみを含めたごみ問題、今後どうしていいのか、どうしたらいいのかということについて、非常に勉強させていただきました。本当にありがとうございました。苫小牧のごみが減るというためにはどうしたらいいのか、これまでいろいろな053大作戦を始めとして、努力はされてきたんですけども、やはり更なる減量という点に関して、今年7月から有料化が始まるわけです。従ってこの有料化の効果というのを、私たちはこれから先も点検をしていかなければいけないんだろなと思うわけですね。目的はあくまでもごみの減量にあると、また同時に資源の有効活用リサイクルにあるんだというところを肝に銘じながら、今後の推移というものも見守っていきたいというふうに考えております。また、本当にこの7月からいよいよ導入なんだなといった時に私、大学に勤務しているものとして学生に話すと、え？そうなんですかと、という学生の驚きを聞いて、そうなんだよと、パンフレット配られているでしょと言った際にいやちょっと気が付かなかったというようなことも多々聞かえてきますので、これから4、5、6と3ヶ月間使いまして周知を図っていきたくて、できる限りこういったことを理解をしてもらうように、私個人も努力をしていきたいそう思っております。本当にいろいろと勉強させていただきました。ありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございました。D委員お願いいたします。

(D委員)

こんにちは、私自身は会の委員の中で、途中から交代して出席しておりますので、中身のことは直接はわかりませんが、でも前任者と特に、密閉容器の生ごみを有効に利用するということが大事だよねということで、話し合ったり勉強して、その結果として、そうか、こういう実態というか、利用の仕方というのが、消費者として、市民としてはすごく大事なところだなということで、個人的にも会としても、続けていこうと思っているところです。このあとは、一市民としていろんなことにまた目を配ったり自分も努力したり、みなさんにお伝えしたりということをやっていきたいと思っています。ありがとうございました。

(大水会長)

はい、ありがとうございました。E委員お願いいたします。

(E委員)

どうもみなさまありがとうございました。昨年から関わらせていただいて、まだまだ勉強している身です。これからも続けていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。ありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございます。F委員、よろしくをお願いいたします。

(F委員)

行政の政策の転換点で、この審議会に参加させていただいて、本当にありがたく思っています。先日、環境問題やっている先生とお話しているときに有料化については、本当に全部手段を尽くしたのかというふうな質問を受けたのですが、経済的手法ですとか、規制的手法方だとか、いろいろ組み合わせながらやっていくのは、これでしかたないのかなと思います、ただ今後もこういう廃棄物の減量というのはまず目的ですので、目的を達成できるような政策をまた今後とも、いろいろ考えて行くべきなのかなというふうに思います。初期の目的を達成できるように祈念をしたいと思います。どうもありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございます。G委員お願いいたします。

(G委員)

途中からの参加でしたが、ありがとうございました。コープさっぽろとして、小さな単位でたくさんの方の市民、消費者のかたまりがあるんですけども、そこで出前講座をいただくことを春からたくさんの方の申込をしているはずなんですけれども、やっぱり切羽詰まってくると本当にごみ問題ってストレスのかかる問題で、本当に7月からごみ袋をどうしましょというところから始まって身近な問題になっていて主婦の間では、会話の中に必ず7月からごみお金かかりますよね、ていうのが必ずでてくるような問題になっています。これからあと3ヶ月、4ヶ月の間に周知徹底して私達も正しいごみの出し方をみんなで見えるように勉強したいと思います。いろいろありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございます。A委員お願いいたします。

(A 委員)

あの、私も4期目になりました。こういう審議会に出席してですね、必ず発言をしたいなというふうに思っているんですね、ですからせっかくの機会ですから、各委員さんもできるだけ発言するように、進行役も含めて努力していただきたいなと思います、そのことによっていろいろな意見が出てくるわけですからね、そのことをお願いして挨拶にしたいと思います。

(大水会長)

ありがとうございます。H委員お願いいたします。

(H 委員)

この審議会に参加させていただきまして、いろんな方からいろんな意見をいただきました。大変参考になりました。ありがとうございます。わたしは14階建てのアパートに住んでいます。さっき共同住宅の話もありましたが、これ14階建てに180戸の家庭が住んでいます。ごみの廃棄ということで、私アパートに20年生活しているんですけども、今までの慣例ですとごみの日だから捨てればいんだらうということで分別して捨てるという習慣ができていなかったんです。だからこの会に参加して知らないことを教えていただきました。本当に良かったなとそれを基にして、皆さんにことあることに話をしているんですけど、ようやく、緒に就いたかなという感じですね。高齢者の方が多いですからね、なかなかそれが徹底しないというのか今までどおりのくせっていうかそういう習慣がありましてね、分けて投げるとというのが、これはどこへなげるのかこれはどうすればいいのかということから始めないとなかなか徹底しないなといういわゆる投棄、分別というマナーというそのへんがちょっと、まだ不十分だなどもう一つはいつも思うんですけど、いまのアパートの場合は投棄場所が14階から窓や廊下から見えるという場所ですと、マナーというのは時間外に、日にち以外に、曜日以外に置くことはあまりないんです。みんな窓から見えますから、ところが影になっているところは、これは大変なんです。車で持ってきて捨てる、会社に行く途中で捨てていくと、そういうのがありますね、これはもうパトロールの話がありましたけども、今までは出したのを中全部開いて中見て、手紙だとかいろいろなものが入っていますから、それをもとに連絡を電話でとって、気をつけてもらうようにしているんですけどね、これはなかなか大変です。だからこういう投棄物のこれからの課題のような物を徹底する為には投棄する場所が他と違って、一軒屋と違ってやり方というか、指導の仕方を変えていかなければならないなど。そのためには投げる場所、投げるときにはお互い声をかけてなげましょうと声かけましょうと言っているんですけど、なかなかそれが徹底しないとそれが悩みです。これから7月に向けて、どうしたらいいかなと思って、何かいい知恵があったら教えてほしいなど。特にアパートの生活の方にはお聞きしたいんですけども、そういうことで私自身いろんなこの会に参加させていただいているいろんなことを教えていただきました。他の地域の対応とかも参考になりました、本当にありがたいなと思っています。これを基にして、自治会長を仰せつかっているんですけども、ことあるごとに保健衛生部を担当にして、他のアパートの模範になるようにしたいなと気持ちはそういう気持ちでおりますからもっと勉強させてくださいということで今きておりました本当にお世話になりました。ありがとうございました。お礼申し上げます。

(大水会長)

ありがとうございました、I委員お願いいたします。

(I 委員)

皆さまに大変いろいろなことを教えていただいたことに大変感謝をしております。そして今、市の

方の先ほど発表ありましたけど、住民の方も有料化にたいして理解をして7月からの方法についても大変好意的に考えているようなので問題なく移行ができるような感じを受けております。以上です。

(大水会長)

ありがとうございます。J委員お願いいたします。

(J委員)

あの、大量消費の時代を迎えて、以前からごみの減量化というのは、それについてどう取り組むのかというのは、私も非常に興味がありまして、この審議会参加させていただきました行政の審議会の過去の流れの中で、長年の取組がようやくこの7月から実現されるんだなという感じを受けています。あの行政の方が各町内会まわられて、先ほど説明ありましたけども丁寧なご説明をされていると聞いております、多分、市民の方かなり啓発理解されているのではないかと、こういった成果が7月からであれば大変結構な話だと思っております。私も町内会の方からパトロール隊員の依頼を受けて実際7月から腕章か何かを巻いてまわると思います、今までの流れを無駄にしないように厳しい視線でやっていかなきゃいけないと思っております。今後とも勉強させていただきましたけども何かとまた刺激を受けて頑張っていきたいと思っております。長い間ありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございます。K委員お願いいたします。

(K委員)

今回参加させていただいて、皆さんの意見をいろいろお話を聞かせていただいて、大変勉強になりました。自分の意見という点では、ちょっとあれでしたけど、苫小牧のごみの有料化という、新しいスタートに関わられたということはとても貴重な体験となりました。ありがとうございました。

(大水会長)

はい、ありがとうございます。では、L委員お願いいたします。

(L委員)

一般公募で初めて参加させていただきました、大変中身の濃い勉強をさせていただきましたですね、お礼を申し上げます、たまたま私、高齢者の大学であります市立の長生大学の学校があるんですが、その学生総代を昨年仰せつかわりまして、機会あるごとにごみの今年度からの有料化実施について訴えてきました。また出前講座等で行政の方でも説明を数回お願いしていると思います。今年もまた6月に錦岡の長生大学でお願いをしております。どうしても高齢者の言い訳ではありませんが、忘れることが多いので6月の直前にご丁寧なご説明をお願いしたいと思っておりますし、今年また、60名近い新入生も入ってまいります。どうぞあの行政の方からも積極的に長生大学にアプローチをしていただきまして、折に触れて忘れない程度の感覚で一つあのご説明をいただければありがたいと思っております。今後の円滑な推移を期待しております。ありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございました。M委員お願いいたします。

(M委員)

私は苫小牧青年会議所会員の代表ということで、これまでこの会に参加をさせていただきました。本当にたくさんの方のことを今まで知らない事を皆さまに教えていただきまして、本当に感謝を申し上げます。

ます。ごみの有料化は7月からというところで、仕事から興味を持って自分が誰よりも勉強をしなくてはいけない立場だというふうに思っているんですけども、やはり出す側、それから回収する側の知識がイコールでなければ、せっかく出したものを回収せずにそのまま放置をして、また汚れてしまうと、また違う問題が発生してくるということになってくるでしょうから、7月からが本番だというふうに思っております。この話をメンバーに自分が戻りましてまた、知識と意識をしっかりと持ってやっていこうということでもしっかり伝えていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございました。N委員お願いいたします。

(N委員)

私は、この審議委員では比較的長い期間やっているんですけども、それにしても自分では知識が不足しているなど痛感するばかりでした。7月からは家庭のごみの有料化ということがはじまりそこでまた紙の資源化というのが出発しますので、これに今、私は期待したいと思っておりますどうもありがとうございました。

(大水会長)

ありがとうございました。ただいま皆さまから、ご意見伺いました。貴重なポイントを付いているご意見たくさんございました。これから事務局の方でいろいろと参考にすることも多い、ただいまのご意見だと思います。それでは本日の審議会はこれで終了したいと思います、最後に私の方から第9次審議会の閉会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げたいと存じます。この9次審議会は平成22年度から24年度までの2年間、本日を含めて、5回の審議会の開催となりました。ご存知のように今年の7月からは今まで無料で回収されていた家庭ごみが、有料化となります。紙類の資源化新たに分別区分の対象になりました。市民の皆さんもいろいろと戸惑うこともあろうかと思いますが分別については、ぜひお願いをしたいと思っております。今まで私個人にしてみれば、8次9次と4年間この会議に携らせていただきました。これから実施します、この有料化施策と、いろいろと相乗効果がですね、これからでてくるのではないかと。さらなるごみの減量、リサイクルの推進の道は今スタートしたんだろうと思っております。先ほど集合住宅の件でご意見がございました、これがひとつのおおきなポイントです。苫小牧市の町内会は85町内会ありますが、各町内会で、いろんな事情がございまして温度差もございまして。それと先ほど意見にありましたように、このごみについての意識付け、この温度差もあることも確かなんです。ですからそれをひとつのラインでスタートさせるのは行政の仕事ですが、それを受ける側してみるとこれからいろいろな問題がこれから発生してくるというのは十分予想されることです。しかし、有料化については7月からスタートとなります。市民のみなさまには家庭ごみ有料化の分別方法しっかりと理解していただきまして、また周知につきましては053大作戦ステージ3の取組を継続してもらい、家庭ごみの有料化についてはスムーズにスタートを迎えることができれば、この審議会の意義がそこにあるのだというふうに思っております。この2年間各委員のみなさまから貴重なご意見をいただき、またご協力をいただきながら審議会を進めることができました。本日は深く感謝を申し上げます。どうもありがとうございました。これをもちまして第9次審議会の閉会することといたします。司会は事務局にお返しをいたします。ありがとうございました。

(西田室長)

大水会長ありがとうございました。最後に第9次審議会の閉会にあたりまして、事務局を代表いたしまして前川環境衛生部長よりご挨拶を申し上げたいと思っております。

(前川部長)

本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

第9次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会の閉会にあたりまして、一言ごあいさつをさせていただきます。皆さまにおかれましては、2年間にわたり、廃棄物行政につきまして貴重なご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。

皆さまご存知のとおり、本年7月から家庭ごみ有料化及び紙類の資源回収がスタートいたします。冒頭の会長の挨拶にもございましたが、昨年4月から「次の世代のための一歩を踏み出そう」をテーマに「053大作戦～ステージ3～」として、様々な事業を展開しておりますが、その一環であります市民周知につきましては、大変重要なことと捉え、積極的に実施してまいりました。周知状況は先ほど、ご報告させていただいたとおりでございますが、引き続き出前講座などを実施して、さらに多くの市民の皆さまへの周知に努めてまいります。そのほか、生ごみ減量への取組、集団回収の拡充、不適正排出・不法投棄の対策や環境教育などの事業を展開しておりますが、これらの事業は、「053大作戦～ステージ3～」が終わる6月で終了するわけではなく、有料化後も継続して実施していくものもでございます。

「まちぐるみで考え まちぐるみで参加し まちぐるみで行動する」を合言葉に行政・市民の皆さんと協働して、さらなるごみの減量とリサイクル推進に向けて取り組んでいきたいと考えております。

最後になりますが、委員の皆さまには、この審議会を通じまして、私どもにさまざまな形でご指導をいただきましたこと、厚くお礼を申し上げまして、事務局を代表してのあいさつとさせていただきます。ありがとうございました。

(西田室長)

それでは、これで第9次審議会は閉会いたします。皆さまこの2年間にわたりまして、熱心なご審議・ご協力、誠にありがとうございました。

(事務局)

それでは視察に出発したいと思います。1階東側玄関（職員会館前）に道南バスが止まっておりますので、1時40分までにご乗車ください。